

愛知用水期成同盟会による愛知用水チラシ：1951（昭和26）年6月20日

愛知用水期成同盟会が愛知用水をPRするために約90,000枚を作成し、管内の小学生に配布したリーフレットである。文面の背景には青色で愛知用水の諸元や効果、「おんたけ山」、木曽川なども記し、愛知用水受益地域の地図が描かれている。

本文では河川の総合的な開発をおこなったアメリカのT.V.A計画をあげ、「テネシーの流域に住んでいた人々が、自分達の住む土地は、自分達で良くするんだと、進んでこの仕事をなしとげた」とあり、それが「アメリカの民主主義」だと説明している。また愛知用水という「人工の河」を造ることで水不足がなくなり、農業用水、上水道、工業用水に活かされ、「本当に幸な土地」になると記している。

翌年には世銀調査団の第1回来日が予定されていた。リーフレットの最後には「この人達が、こられたら、村の人も、町の人も一緒になって、お父さまやお母さまも皆さまと共に、愛知用水が一日も早く出来ることを心から望んでいることをお話ししよう」と記されており、来日までに子どもたちを通して家庭に愛知用水の理解を求めていることがわかる。

